

情報教員免許が取得できるようになって

情報処理センター所長 湊 敏

本学も、平成16年度から社会学部現代社会学科に入学する学生は、高等学校教諭一種免許状情報が取得できそうである。このことは、奈良大学にとって大変喜ばしいことである。一方、情報処理センターにとっては喜ばしいことである反面、頭の痛いことも出てきそうである。

情報処理センターにとってうれしいことは、センター内の施設の利用者が増え、これら施設を有効に活用していただけることである。また、情報の教科科目の関係でこれまでより幅広いコンピュータの利用が行われ、情報処理センターを支えている学生スタッフのコンピュータに関する知識も増え、技術力も向上することが期待できる。

一方、頭の痛い問題は、情報処理センターの教室を利用する授業が増えることである。1週間にセンターの教室を利用できる回数は限られている。現在でも、教室の利用可能時間は限られてきている。この状況に加えて新しい科目が開講されると、センターとしてはうれしい悲鳴を上げざるをえない。来年度からの新カリキュラムを見る限りにおいては、物理的に不可能というわけではない。今後、教務課と相談の上教室をどのように有効利用するかを考えなければならない。このため、時間割編成上、先生方にもご無理をお願いすることになるかもしれない。

また、情報免許に関する教科科目も問題になってくる。これまで情報処理センターでは、あまり重要視していなかったコンピュータの利用も考えられる。プログラミング、ネットワーク、マルチメディア（画像、動画、音声の処理）関係でのコンピュータ利用である。特に、ネットワークとマルチメディア関係に関しては、現在のところソフトウェア等が十分に整備されていない。今後これらの整備に関しては、先生方のご意見を聞きながら整備するつもりである。

ありがたいことには、現行システムは2005年4月を以って更新する予定であるので、次期コンピュータ・システムは情報免許に関する教科科目に十分対応できるものにしたい。このため次期システムの設計にあたっては、特に情報免許に関する教科科目を担当される先生方にご協力をいただきたい。本学の学生が一人でも多く、高等学校教諭一種免許状情報を取得できることを願う。